

定住の 経済的条件

定住に必要な生活費設計ソフト開発と 地域経済循環による所得創出可能性

～地域版家計調査データを用いて～

研究の背景・目的

中山間地域ではUIターンなど移住が進んでいますが、他方、これら移住世帯の定着に必要な生活費は不明確な状況にあります。そこで、県内中山間地域の子育て世帯を中心に生活費調査『地域版家計調査』を実施し、移住世帯定着に必要な収入額や分野毎の生活費のデータを蓄積、支援策の検討に必要な情報を提供します。
また、データを用い、移住者や支援行政機関が定住に必要な生活費や収入を予測できるソフトの開発や、地域経済循環による所得創出可能性の研究を行っています。

研究方法

- ・中山間地域世帯の生活費を比較的簡易に把握できる調査手法を開発、世帯家計データを蓄積、次の研究等を展開
- ①特に子育て世帯の生活費の特徴や定着に必要な収入規模の抽出
- ②移住世帯の生活費設計を支援する生活費シミュレーションソフトの開発
- ③食料、燃料の地産地消化など、地域経済循環の強化による所得創出可能額の推計手法の開発

研究状況

①調査世帯が家計簿感覚で入力できる『地域版家計調査ソフト』を開発。データを用い子育て世帯を中心に生活費の特徴や定着に必要な収入規模を整理、適宜提供しています。

②『田舎暮らし設計』（定住に必要な生活費シミュレーションソフト）を開発、移住世帯が想定するライフスタイルに必要な生活費や、想定する収入規模に応じた生活費設計が可能となりました。



大阪UIターンフェアの家計相談コーナーでの「田舎暮らし設計」の利用

③中国地方知事会中山間地域振興部会の共同研究として、家計データを用いた食料・燃料分野の地域経済循環調査に着手し、地域の経済循環状況や所得創出可能性を分析しています。

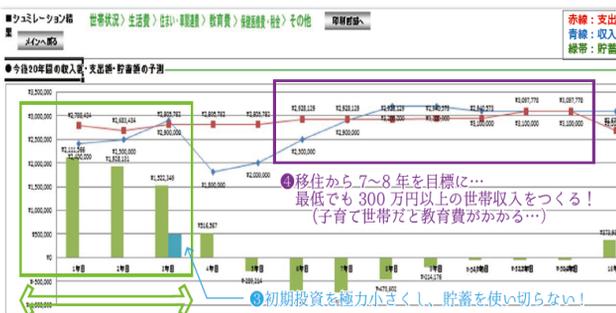
田舎暮らし設計

結果の見方…

こんな結果が出てきます。
例えば、「30歳代夫婦+子ども1歳」の場合。

- 【諸条件】
- 夫：3年間は地域おこし協力隊月18万円→4年目就農月3万円から開始
 - 妻：1年目から月6万円のパート、5年目から月9万円、7年目から月10万円
 - 移住の際250万円の貯蓄がある
 - 移住後4年目に農業就農に向け100万円貯金を使う

①子どものいる世帯なら移住時に貯蓄が100～200万円ないと厳しい！



研究成果の活用・今後の研究計画

- ①県、市町村の関係部局と連携し、定住や子育て支援等の施策設計場面などでのデータ利用を進めていきます。
- ②移住世帯の相談や自治体の定住モデル構築等の場面での『田舎暮らし設計』の運用を進めていきます。
- ③地域経済循環による所得創出可能規模や食料・燃料での実践事例収集を進め、実現に向けた仕組みや障壁等を整理・公開していきます。

担当科 : 地域研究スタッフ

研究担当者 : 有田、川上、佐藤

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

問い合わせ先 : 0854-76-3833 (直通)

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp (代表)

子育て世帯の効果的な定着条件整備に向けた研究 (研究期間: H25～27)

試験研究課題名 : 地域内調達促進による所得・定住創出の研究 (研究期間: H27)

